

【R 1 8】 会話形式ノベル

『身体検査で、

新人女教師をからかって困らせる男子達』

～登場人物の会話～

作：七条右京

【主な登場人物】

ながしま あんな
・ 永島杏奈：新人女教師

たなか
・ 田中：男子1

さとう
・ 佐藤：男子2

今日は身体検査の日。

**新人女教師の永島杏奈は、男子の身体検査を手
伝う事になった。**

**身体検査はパンツ1枚で行うのだが、男子2人
は、杏奈をからかって困らせようと、杏奈の前
でわざとパンツを脱いで、男性器を見せつけ、
恥ずかしがる杏奈を見て喜ぶ。**

**杏奈は、男子2人に復習をしてやろうと思い、
後日呼び出し、お仕置きをする。**

○保健室

身体検査の為に集まった男子生徒達。

永島杏奈：

「みんな、身体検査はパンツ1枚で行うから、
服を脱いで、準備しなさい」

田中：

「先生、パンツは脱がなくていいんですか？」

にやけて、冗談ぽく喋る田中。

杏奈：

「パンツは履いたままでいいのよ」

「脱いじゃ駄目よ」

「いい、分かった？」

田中：

「は〜い、分かりました」

田中と佐藤のひそひそ話、

田中：

「なあ、先生を困らせてやろうよ」

佐藤：

「困らせるって、どうするんだよ」

田中：

「先生、絶対に男のちんぽ見た事ないぞ」

**「だから、先生の前でパンツ脱いで、ちんぽ
を見せつけてやるんだ」**

「ちんぽ見た時の恥ずかしがる姿、可愛いと

思うぞ」

佐藤：

「面白そうだな」

「どうやって、やるんだ？」

田中：

**「先生は、体重と身長に係だから、先生の前
で適当な理由をつけて、パンツ脱ぐのさ」**

佐藤：

「早く、恥ずかしがる顔、見てみたいな」

■ ■

杏奈：

「田中君ね」